

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	562 道路維持経費	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	02	道路橋りょう費
基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する	目	02	道路維持費
		細目	341	道路維持経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	道路維持経費
担当部課	コード	191000	担当者氏名	岩野 庄司
	名称	建設2課		
		連絡先	43 - 2329 (内線)	254

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市道利用者	※対象件数
成果(どうする)	市道の維持管理を適正に行うことにより安全に安心して通行できる。	
根拠法令・要綱等	道路法、道路構造令、アスファルト舗装要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	・道路維持工事 83件 ・草刈業務委託料 31件 ・融雪剤散布等委託料 17件 ・土木材料費 ・その他経費 ・道路維持管理業務委託料 20件 ・測量調査業務委託料 4件 ・融雪剤資材費 ・道路修繕費 214件	
社会情勢の変化等	きめこまかな臨時交付金により平成22年度予定箇所を平成21年度(H22線)で執行	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
道路維持工事箇所数		箇所数	目標	60	目標	83
			実績	60	実績	83
道路維持修繕箇所数		箇所数	目標	230	目標	214
			実績	230	実績	214

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
道路維持工事箇所数		住民要望に基づく修繕箇所数により満足度を量る	箇所数	目標	60	目標	83
				実績	60	実績	83
道路維持修繕箇所数		住民要望に基づく修繕箇所数により満足度を量る	箇所数	目標	230	目標	214
				実績	230	実績	214

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	90,181	98,620	51,560	52,600				
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	90,181	98,620	51,560	52,600				
事業投入人件費(B)	2.0人 14,400	2.0人 14,400	2.0人 14,400	2.0人 14,400				
フルコスト(A)+(B)	104,581	113,020	65,960	67,000				

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
サービス水準や対象を見直す余地がある。		道路補修工事・舗装補修工事等により安全な生活道路が確保される。
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	○
	【事業名】 臨時地方道整備事業	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	要望箇所に優先順位をつけ、計画的に維持補修に努め効率的な執行を図る。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	道路パトロールを強化し、生活道路及び緊急性を優先し、必要最小限の補修に努める
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 計画的且つ効率的に事業実施し、経費節減のため、可能な範囲で、職員による修繕対応を実施できた。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	中井 秀幸
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 市道利用者が安全に安心して快適に道路を通行できるように事業実施していく
現時点における課題、その他	道路維持に係る地区要望が年々増加傾向にある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	厳しい財政の中、各地域からの要望に対し、費用対効果を踏まえ、優先順位をつけ計画的に事業実施を図る。